学校番号	1007

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語研究	2	3	Logical English Reading Level 2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、難度の高い文章を読み、高度な内容（主に論説文）に対応できる総合的な読解力を養います。精読や速読など大学入試に対応できることを目標とします。また、レポートやエッセイ、スピーキングなどのアウトプット活動を通して英語力を深めます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然なスピードで話される簡単な紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを適切に理解したり、概要や要点を正確に捉えたりすることができる。 ・教室で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、即座に行動に移すことができる。	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 ・様々な種類の英文をその意図を理解し速度を変えながら必要な情報を読み取ることができる。	・身近なトピック（自分のこれまでの経験、将来の夢や希望など）について、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明し、他人と意見や情報の交換をすることができる。	・身近なトピック（自分のこれまでの経験、将来の夢や希望など）について、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	大学過去入試問題等 大学が秋に始まるべきか、才能ある生徒に飛び級を認めるべきかに対するレポート	読むこと	a:大学入試レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 発表 課題提出 等
		聞くこと	a: 大学入試レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 聞き取り、内容を把握しようとしている	
		話すこと （やりとり）	a:大学入試レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 c: 自らの言葉で伝えようとしている	
		書くこと	a: 大学入試レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章に書いて伝えることができる。 c: 自らの言葉で書こうとしている	
	中間考査			
	大学過去入試問題等 ビューティーコンテストは禁止すべきか、定年退職制度は廃止すべきかに対するレポート	読むこと	a:大学入試レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 発表 課題提出 等
		聞くこと	a: 大学入試レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 聞き取り、内容を把握しようとしている	
		話すこと （発表）	a:大学入試レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 c: 自らの言葉で伝えようとしている	
		書くこと	a: 大学入試レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章に書いて伝えることができる。 c: 自らの言葉で書こうとしている	
	期末考査			
2学期	大学過去入試問題等 死刑は廃止すべきか、肥満税は導入されるべきかに対するレポート	読むこと	a:大学入試レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 発表 課題提出 等
		聞くこと	a: 大学入試レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 聞き取り、内容を把握しようとしている	
		話すこと （やりとり）	a:大学入試レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 c: 自らの言葉で伝えようとしている	
		書くこと	a: 大学入試レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章に書いて伝えることができる。 c: 自らの言葉で書こうとしている	
	中間考査			

	大学過去入試問題等 カジノは日本で許可されるべきか、日本は義務投票制を採用すべきかに対するレポート	読むこと	a:大学入試レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 発表 課題提出 等
		聞くこと	a: 大学入試レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 聞き取り、内容を把握しようとしている	
		話すこと（発表）	a:大学入試レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 c: 自らの言葉で伝えようとしている	
		書くこと	a: 大学入試レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章に書いて伝えることができる。 c: 自らの言葉で書こうとしている	
	期末考査			
3学期	大学過去入試問題等 最新のニュースに対するレポート	読むこと	a:大学入試レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 発表 課題提出 等
		聞くこと	a: 大学入試レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 聞き取り、内容を把握しようとしている	
		話すこと（やりとり）	a:大学入試レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 c: 自らの言葉で伝えようとしている	
		書くこと	a: 大学入試レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章に書いて伝えることができる。 c: 自らの言葉で書こうとしている	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度